

第3学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題（重点項目）	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見を相手に分かりやすく伝えられるようにする。 ○相手が伝えたいことは何かを意識して話を聞けるようにする。 ○漢字学習では、確実に力が身に付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心をはっきりさせたり、理由を明確にさせたりする。また、スピーチメモを書かせて練習することで自信をもって発表に臨めるようにする。 ・話した内容の大事なところをメモに書かせたり、話した内容についての質問に答えさせたりして、大事なことを落とさずに聞く習慣が身に付くようにさせる。 ・新出漢字を繰り返し練習させ、確実に身に付けさせるようにする。習得しているかの確認を定期的に行い、習熟を図るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを活用し、話の中心や自分の意見の根拠を明確にできる児童が増えた。 ○メモを取ったり、質問したりする活動を通して、話の要点を捉えようとする児童が増えた。 ▲日常生活の中で、習った漢字を使う習慣を付ける必要がある。
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ○地図や表、資料から必要な情報を読み取る力が付くようにする。 ○具体的資料を活用して、調べたことを工夫して表現する力が付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の資料や地図を活用し、課題に対して必要な情報を取捨選択して整理させ、課題を解決できるようにする。 ・表現方法の工夫を提示して、具体的な資料をもとに、相手に分かるようにまとめさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から情報を読み取ることで、社会的事象についての理解を深めることができた。 ▲学習したことを、自分なりに工夫してまとめる力を付ける必要がある。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもち、筋道を立てて考察する力が付くようにする。 ○要素に着目して問題を捉え、計算の意味や仕方を説明できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもち主体的に問題に取り組めるような授業展開にする。既習内容を確認したり、具体物を用いた活動を行ったりする。 ・問題を構成する要素を捉えさせ、言葉や式・図などを用いて問題を整理させる。また、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いてよさに気付いたりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを書く時間を確保することで、言葉や式・図などを用いて自分の考えを書き表せる児童が増えた。 ▲全員が、自分の考えに自信をもって発表できるようにする必要がある。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ○生き物の様子や成長を理解するために、体験的な活動を取り入れるようにする。 ○物の性質についての見方を知り、実験を通して課題を解決していく力が付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な生き物を観察する活動を通して、生物の特徴を捉えさせ、環境とのつながりがあることを理解させる。 ・光や磁石、電気などを働かせたときの現象を比べる活動を通して、自ら興味、関心をもって課題を追究していくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予想を話し合ったり、予想を基に実験に取り組んだりすることができた。 ▲生き物の様子や成長について、視聴覚資料とともに、実際に観察する時間をより確保する必要がある。

<p>体 育</p>	<p>○学習カードを活用し、それぞれの運動領域で基本的な動きや技能が身に付くようにする。 ○児童同士が運動を見合い、互いのよさを認め合えるようにする。</p>	<p>・準備運動の際に、主運動につながる動きを取り入れたり、基本的な動きが身に付く場の設定や補助具の活用をしたりする。 ・児童同士の関わり合う場面をつくり、運動の楽しさや喜びを味わわせたり、技能を高め合ったりできるようにする。</p>	<p>○主運動につながる動きを取り入れることで、基本的な動きが身に付いた児童が多くなった。 ▲児童同士が関わり合いながら、運動の楽しさを味わったり、技能を高めたりする時間を確保する必要がある。</p>
<p>総 合</p>	<p>○自ら課題を見付け、問題を解決する力を付けるようにする。 ○自分の生活と地域との関わりについて理解し、自己の生活に生かせるようにする。</p>	<p>・自分の興味、関心から課題を設定させ、学習の見通しをもって計画的に取り組ませる。 ・地域の行事を調べたり、身近な人々の取り組みを調べたりする中で地域について理解を深め、自分の生活をより良くできるようにする。</p>	<p>○図書館と連携し、児童の興味・関心から課題を設定させることができた。 ▲自ら資料を探す機会を設け、必要な資料を取捨選択する力を育む必要がある。</p>
<p>道 徳</p>	<p>○児童自ら道徳性を育み、自分の生き方についての考えを深めるようにする。 ○児童相互の考えを深められるよう、物事を多面的、多角的に考えられるようにする。</p>	<p>・道徳的価値観の形成を図る観点から、書く活動や話し合う活動など自己の心情・判断等を表現する機会を充実させ、自らの道徳的な成長を実感できるようにする。 ・資料について自分の考えを出したり、友達の意見を聞いたりして、様々な考え方があることに気が付くようにする。</p>	<p>○ワークシートの記入や他の児童の意見を聞く活動を通して、自分の考えを深めることができた。 ▲学習と自分の生活を結び付けて考えさせ、生活に生かそうとする態度を育む必要がある。</p>
<p>外 国 語 活 動</p>	<p>○外国語に興味、関心をもたせる。 ○言語や文化についての理解を深めるようにする。</p>	<p>・進んで英語を使ったり、英語が伝わる楽しさを感じ取ったりできるように、ゲームや友達との学習活動の機会を増やす。 ・外国語の音声やリズム、日本と外国語との生活習慣や行事などの違いを知る機会を増やす。</p>	<p>○ICT機器を活用し、外国の文化や行事を紹介することができた。また、ALTと連携し、外国語の発音に慣れ親しませることができた。 ▲インタビューゲームなど、児童同士で関わり合う活動を取り入れ、進んで外国語を使おうとする態度を育む必要がある。</p>